

「ベラルーシ共和国国境における核・放射性物質不法移転防止システムの近代化」プロジェクトにおける移動ラボ供与及び放射線管理専門教室開設記念式典

日・ベラルーシ核不拡散協力委員会技術事務局

平成 23 年（2011 年）5 月 24 日

1. 平成 23 年（2011 年）4 月 25 日（月）、ベラルーシ共和国首都ミンスクの国境警備大学において、[「ベラルーシ共和国国境における核・放射性物質不法移転防止システムの近代化」プロジェクト](#)における移動ラボ供与及び放射線管理専門教室開設記念式典が開催されました。同式典には、松崎潔在ベラルーシ日本国臨時代理大使（日・ベラルーシ核不拡散協力委員会日本国政府代表）、ゲラシモヴィチ外務省国際安全保障・軍備管理局長（同ベラルーシ政府代表）、佐々木肇日・ベラルーシ核不拡散協力委員会技術事務局長、ラチコフスキー・ベラルーシ国境警備委員長、国境警備大学関係者、企業関係者等多数が出席し、その模様はテレビを含む国内メディアによって広く報道されました。
2. プロジェクト関係者の挨拶およびテープカットの後、完成した移動ラボ 4 台（国境の放射線インシデント対応用 3 台及び放射線管理用 1 台）及び放射線管理専門教室が披露され、放射性核種分析や内部被曝測定等のデモンストレーションが行われました。なお、ラチコフスキー国境警備委員長含むベラルーシ側関係者は、東日本大震災後の困難な状況にもかかわらず日本側が本件協力を着実に進めたことを高く評価すると共に、深甚なる謝意を表明しました。
3. 式典終了後、各ラボはチェルノブイリ事故汚染地域に近い国境警備委員会ゴメリ支部及びピンスク支部等の配備先に移動し、核不法移転防止及び放射線安全のための活動を開始しました。プロジェクト全体の完了は、本年 7 月頃を予定しています。



完成した移動ラボ 4 台とそのクルー



政府関係者による挨拶



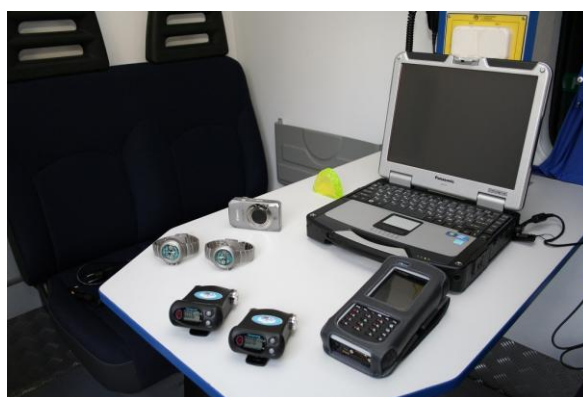
政府関係者によるテープカット



プレスによるインタビュー



国境警備大学内の放射線管理専門教室



国境の放射線インシデント対応のための放射線検知器、通信機器等（管理対応移動ラボ）



ホールボディカウンタによる国境警備委員会職員の内部被曝測定（放射線モニタリング移動ラボ）



ガンマ放射能モニターによる食物試料の分析（放射線モニタリング移動ラボ）